

横浜・八景島シーパラダイス

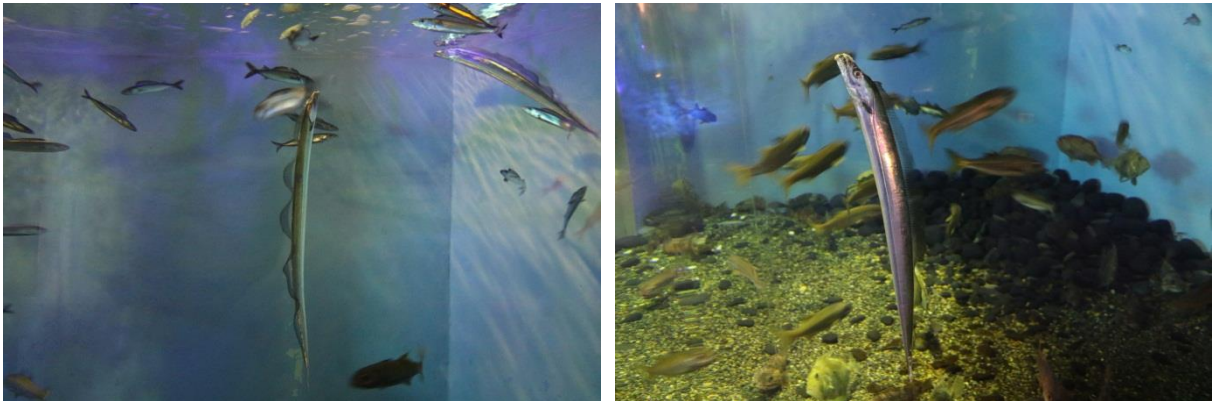
深海にキラリ!!! 白太刀と黒太刀 「タチウオ」と「クロシビカマス」の生態展示

【 2016年12月20日（火）～ 】

『横浜・八景島シーパラダイス』の水族館「アクアミュージアム」では、金属のように輝く希少な深海魚「タチウオ」と「クロシビカマス」のコラボ展示を2016年12月20日（火）より開始しております。

微量の光を浴びて銀色に輝く「白太刀（タチウオ）」と、青黒く輝く「黒太刀（クロシビカマス）」の強面の魚たちは、意外と繊細な体をもつ水族館泣かせの深海魚。この2種類のコラボ展示は、『横浜・八景島シーパラダイス』では初となります。

同じ水槽で優雅に泳ぐ姿は「アクアミュージアム」3階でご覧いただけます。



タチウオ

学名 : *Trichiurus japonicus*

英名 : Cutlassfish

体長 : 約135cm

特徴 : 銀色に輝く細い姿形は、名前が示すように「太刀」を連想する。また、立ち泳ぎすることからタチウオと呼ばれるようになった説もある。大陸棚から400m以浅に生息する。体表は、金属のように輝き美しいが繊細でもろく傷つきやすい。そのため、水族館まで輸送して展示するのが難しい種類である。上顎と下顎には、鋭い歯をもち獲物を切り裂く獐猛な習性がある。上下についた長い鰭を使い立ち泳ぎしたり、普通に素早く泳ぐこともできる。



クロシビカマス

学名 : *Promethichthys Prometheus*

英名 : Bermuda catfish

体長 : 約43cm

特徴 : メタリックな青黒い体表と鋭い牙状の歯が特徴の強面の深海魚。

水深150~750mに生息する。

日本近海では、定置網漁や巻き網漁などで多く捕獲されるが、生きた状態のクロシビカマスを水族館で見せるのは非常に難しい。その理由としては体を覆う皮が薄く、手で触れるだけでも傷ついてしまうほど繊細なためである。また、習性は非常に貪欲であり、鋭い牙で獲物を切り裂き捕食する。